

イ 期日・会場

前期七月、後期十月（各二泊三日）

国立警梯青年の家

ウ 内容

(ア) 女性を取り巻く各種課題の理解

女性問題、国際的な課題、消費者

教育・環境教育、高齢化の課題、地

域の課題

(イ) 意識変革や共同参画推進の学習プロ

グラム作成

(ウ) 団体の育成、組織化や運営に関する

課題等の理解

(エ) 助言と援助に関する実践的な知識や

技能の修得

エ 方法

(ア) 講義・研究協議・演習等を行う。

(イ) 社会教育施設の見学を行う。

オ 対象

(ア) 団体に所属して地域活動に取り組み

とともに、女性を取り巻く様々な課題

に対して関心のある男女

(イ) 婦人学校・家庭教育学級・公民館の

各種事業に参加している男女

(ウ) 女性問題に関心のある男女

(エ) 社会教育主事、教育委員会・公民館

職員、社会教育指導員、婦人教育指導

員等市町村で社会教育に関わる男女

(オ) 生涯学習並びに婦人教育行政担当者

(2) 学習機会の提供

「さわやかレディーズセミナー」の開設

ア 趣旨

女性の多様化・高度化した学習要求に
 応えるため、大学と連携し専門的な学習
 機会の提供をします。

イ 期日・会場

平成六年五月～十一月

福島女子短期大学

ウ 内容

(ア) 働く女性としての基礎知識

(イ) ビジネス文書についての基礎知識

エ 方法

講義・通信学習

オ 対象

県内在住の職業をもつ女性 百名

(3) 「活動の場」の開発

男女共同参画型社会づくりモデル市町村

事業

ア 趣旨

女性の社会参加の実態や男女平等をめ
 ぐる意識など地域の実態を踏まえて、男
 女共同参画型社会づくりを推進し県内の
 モデルとします。

イ 委託市町村 川俣町

ウ 内容

(ア) 男女平等に関する意識・実態調査

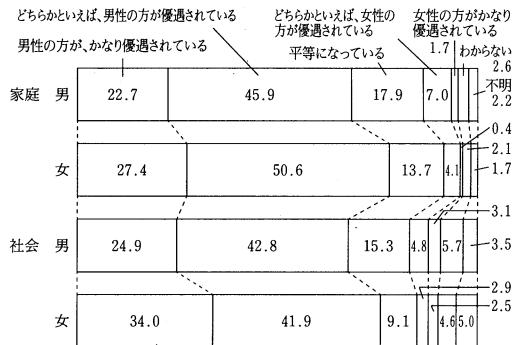
(イ) 啓発のための地域フォーラムの開催

(ウ) 啓発資料の作成・配布

(エ) 行政職員の研修

(表1) 「川俣町・女性に関する男女意識調査」

全般的にみて、男女の地位は平等になっていると
 思いますか



(平成6年8月調査)

おわりに

川俣町の意識調査(表1)が示すように、
 家庭や地域・社会において、男性が優遇され
 ていると認識している人の多い実態がわか
 り、このことが男女の生き方に大きな影響を
 与えていると思われまます。

「男女共同参画社会」の形成を目指す上で、
 女性と共に男性の意識の改革を求める声が大
 きくなってきており、本年の研修会や地域フ
 ォーラムにできるだけ多くの男性の積極的な
 参加を勧めてきました。

これからは、旧来の価値観や習慣・慣習の
 中で作られてきた男性の役割と女性の役割を
 問い直し、男女が共にいきいきとくらせる社
 会を作っていくことが必要になります。